

## 就学・進学にむけての準備



4月～11月 小・中学校や特別支援学校について情報を集めましょう。

就学後の相談をしましょう。

### 学校の見学

- 在籍校園を通じて各学校に申し込みをしてください。
- オープンスクール等へ参加することもできます。(問い合わせは各学校へ)
- 相談窓口になってくれるのは、校長・教頭・特別支援教育コーディネーターの先生などです。

### 相談員への相談

- 就学後の支援について臼杵市教育委員会特別支援相談員に相談できます。
- 必要に応じて園に巡回訪問しています。園の先生を通してこどもの観察、保護者相談を申し込んでください。
- 就学前の準備、就学後の不安など何でもご相談ください。
- 在宅の方は臼杵市教育委員会特別支援担当指導主事に直接ご相談ください。

(電話：0972-86-2724)

10月

### 就学時健康診断(小学校就学前に行います)

- 臼杵市教育委員会から「就学時健康診断日のお知らせ」の案内が届きます。
- 住所がある地域の小学校で、視力・聴力検査、健康診断等を受けます。

### 就学相談シートの作成・提出

- 就学後に支援を希望されるお子さんは就学相談シートを作成して、就学支援委員会に提出し、そこで、支援の必要性の有無、適切な支援の種類を検討します。
- 園を通じて臼杵市教育委員会の相談員に相談してください。
- 在宅のお子さんは、臼杵市教育委員会担当者(指導主事)に相談してください。

## 1月末

保護者あて入学期日及び学校指定の通知

## 2月中旬

入学説明会・学用品販売

○就学・進学予定学校からの案内にそって、入学準備を進めます。

○必要に応じて、就学までに、保護者・在籍園・就学先小学校の3者で会を開き、在籍園での支援を就学先小学校に引き継ぎます。

## 4月

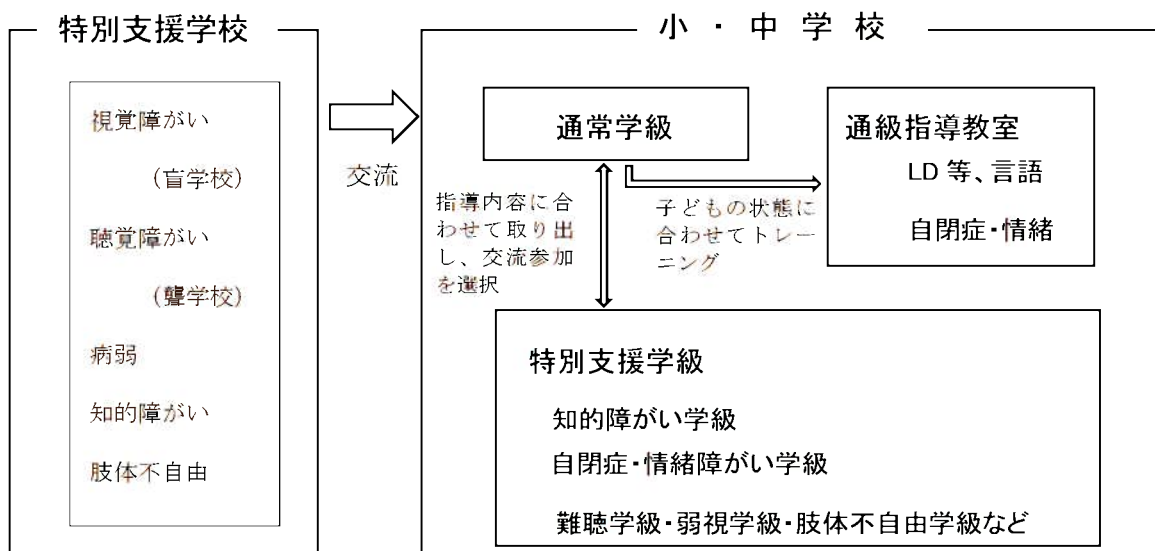
入学前相談

○入学式で配慮が必要なお子さんは個別の対応のご相談に応じます。

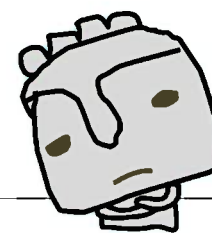
○臼杵市教育委員会担当指導主事もしくは学校へ直接ご相談ください。

入学

○学校では、「個別の指導計画」を作成するなど、お子さんが生活や学習のめあてをもって学校生活ができるよう支援していきます。担任の先生や特別支援教育コーディネーターの先生と連携をとりながら、充実した学校生活ができるようご理解、ご協力をお願いします。



## 就学についての Q&A



### Q1. 特別支援学校と特別支援学級の違いは？

	障害種別・学級	主な対象児童・生徒、学級の様子	
特別支援学校	視覚障害 聴覚障害 病弱 知的障害 肢体不自由 訪問教育	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し、社会参加する姿勢を養うため、個別の教育的ニーズや障害の状態などに応じて、個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた教育内容、方法により指導しています。学校施設・設備も障害や教育内容に合わせて整備しています。	
小 ・ 中 学 校	知的障害学級	主に軽度の知的発達遅滞があるお子さんを対象とした学級です。 特別支援学校の教育課程を取り入れるなどお子さんの学習の状態に合わせて学習することができます。	小・中学校の教育課程にそって、少人数で一人一人に合った学習を進めます。 個々の特性による学習や生活の困難を改善・克服するための学習である、自立活動を取り入れて個々の課題に合った学習をすることができます。
	自閉症・情緒障害学級	主に自閉症又はそれに類するもの、選択性かん黙など気持ちの面で困りを感じているお子さんを対象とした学級です。	
	弱視学級	拡大鏡などを使っても通常の文字、図形などが見えにくいお子さんを対象とした学級です。	
	難聴学級	補聴器を使っても通常の話し声が聞き取りにくいお子さんを対象とした学級です。	
	通級指導教室	通常の学級に就学し、一部特別な支援が必要なお子さんを対象とした学級です。設置校に1週間に1回又は、2週間に1回程度通います。集中できない、全般的な遅れは感じないが、読み書き計算などの特定の分野に苦手を感じるお子さんは「LD等」、正しく発音できない、吃音がある、言葉の発達に遅れがあるようなお子さんは「言語」、情緒的な面で学校生活にうまく適応できにくいお子さんは「情緒」教室を利用できます。	

Q2. 手続きにどのような書類がいらいますか？

特別支援学校	
視覚障害・聴覚障害・病弱・知的障害・肢体不自由・訪問教育	①就学相談票 ②療育手帳又は発達検査の結果の写し(おおむね 1 年以内のもの)③障害の状態が分かる身体障害者手帳のコピー又は診断書、検査結果の写し
小・中学校	
知的障害学級	① 就学相談シート②発達検査の結果の写し(おおむね 1 年以内のもの)
自閉症・情緒障害学級	① 就学相談シート②発達検査の結果の写し(おおむね 1 年以内のもの) ② 医療機関・専門機関での診断書の写し
難聴学級・弱視学級	① 就学相談シート②障害の状態が分かる数値的なデータ(おおむね 1 年以内のもの) ③ 医療機関・専門機関での診断書又は意見書の写し
通級指導教室	① 就学相談シート ②発達検査の結果の写し(おおむね 1 年以内のもの) ③ 医療機関・専門機関での診断書の写し
<p>※ 必要な書類は支援の種類によって異なります。</p> <p>※ 保護者の方に用意していただく物、臼杵市教育委員会で作成する物等があります。「就学相談シート」は、臼杵市教育委員会担当者が保護者の方、園と一緒に相談しながら作ります。まずは園を通じてご相談ください。</p> <p>※ 検査や診断は予約して1～2か月かかることがあります。早めの予約をお勧めします。</p>	

Q3 特別支援教育コーディネーターとはどのような役割の先生ですか？

A: 特別支援教育を推進するための中心的な役割を担う先生です。学校と保護者や外部機関との窓口になったり、また校内の関係者や医療・福祉など関係機関との連絡調整を行ったりする役割があります。

Q4 学区に特別な支援学級がない場合どうしたらよいですか？

A①: 近隣の学区の特別支援学級を選ぶことができます。

学区外への就学を希望する場合は、希望する学校と十分な話し合いをして、学区外の受け入れについて双方が合意することが必要です。

A②: 特別支援学級の新設希望について学校と相談することができます。要望を出されても必ず学級が設置されるとは限りませんが、詳細については就学相談シートを作成する際に担当者に

ご相談ください。※特別支援学級や通級指導教室等の設置校は、臼杵市教育委員会にお問い合わせください。

Q5 小学校に就学するまでにどのようなことができるようになっていたらよいですか？

A: お子さんによって様々ですが、大切なのは小学校への期待感をもてることです。

登校の道を歩いたり、学校での生活の様子を教えてあげたりしましょう。自分の物が分かるように持ち物の準備をすることも大切です。

家庭では、食事の準備や片付けなど、簡単な役割を与え、自分のことは自分でやろうとする気持ちや、役割を果たすことで誉められる喜びを感じるなど学校で学ぼうとする意欲を育ててください。また、お子さんの得意なこと、苦手なことなどについて学校に伝えられるようにしておきましょう。

Q6 「就学支援シート」とはどのようなものですか？

A: お子さんの状態や得意なこと、苦手なこと、環境など、支援の内容を決定する上で必要な情報を載せたシートです。これを基に臼杵市就学支援委員会で支援の内容を検討していきます。

小学校は、就学支援シートや、保護者・在籍園・就学先小学校の3者ケース会の内容を、「個別の指導計画」に生かしていきます。

Q7 「個別の指導計画」とはどのようなものですか？

A: 学校での生活や学習を、一人一人の教育的ニーズに応じて、継続的・発展的に一貫して支援できるようにするための教育計画で、学校が作成します。1年間を見通した長期目標と、学期を目安とした短期目標を設定し、目標達成のための手立てを工夫していきます。

Q8 教育課程とはどのようなものですか？

A: 学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容をお子さんの心身の発達に応じ、授業時数と関連させた学校の教育計画です。



相 談 記 録<小学校・中学校・特別支援学校・高等学校・大学など>

記入日: 年 月 日( )歳

学校名( ) ☆学校と家庭での取り組みの情報交換に活用しましょう。

学校での取り組み及び本人の様子	家庭での取り組み及び本人の様子
○学習について	
○生活面について(対人関係など)	
○コミュニケーション	
○興味・関心・こだわり	
○その他	